

ため池の改修および制約条件に応じた最適な補強工法の選定フロー

研究のポイント

- ため池堤体の補強工法を選定するフローです。
- 改修条件や施工上の制約条件に応じて最適な工法を効率的に選定することができます。

研究の背景

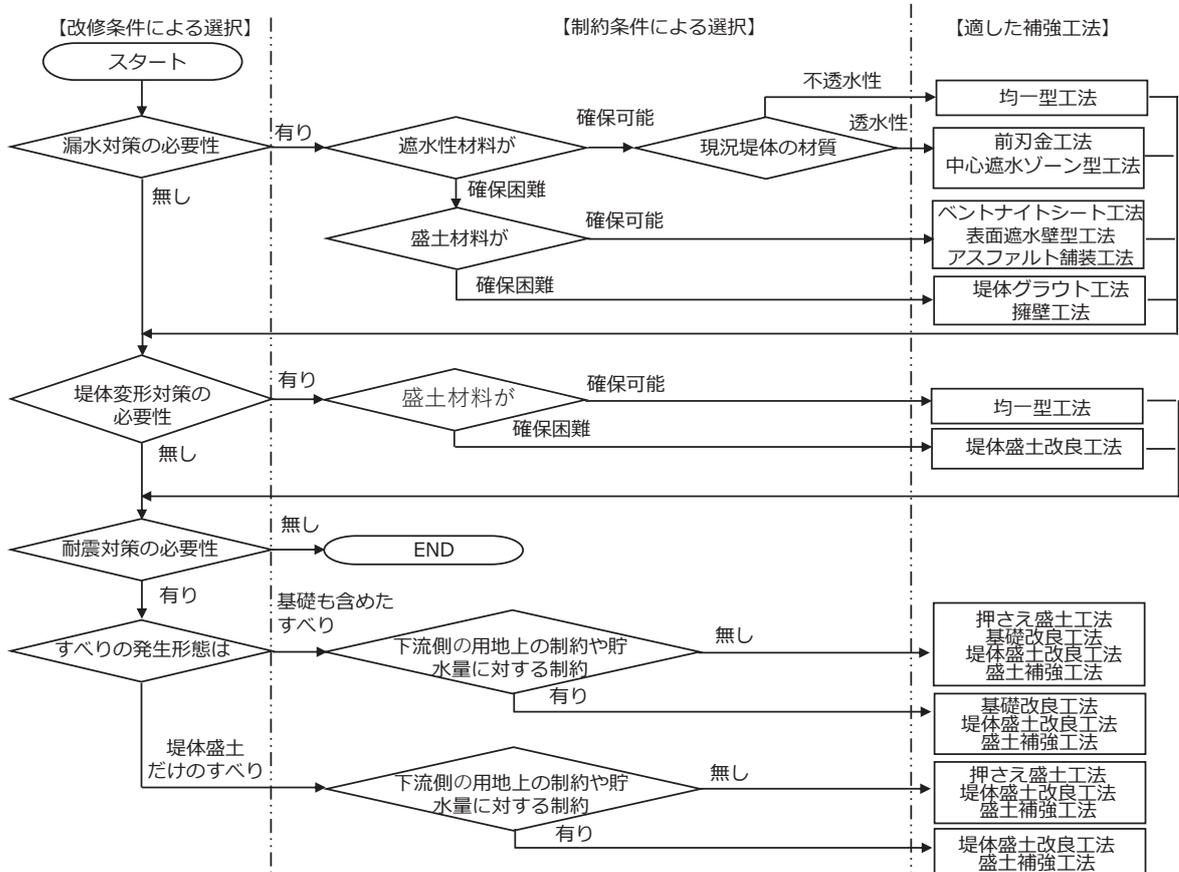
- ため池ごとに改修条件や工事の制約条件が異なり、個別に補強工法を選定している状況です。全国のため池改修工事の加速化のため、効率的に補強工法を選定する手法が必要です。

選定フローの特徴

- 漏水対策や、経年的な劣化等による断面変形対策、耐震対策の必要性といったため池の改修条件に応じて、補強工法を選定できます。
- 盛土材料の確保の困難やため池下流側の用地の制約、貯水量を減少させることが利水上困難であることといった施工時の制約条件に応じて、補強工法を選定できます。

期待される活用例

- ため池の防災工事における堤体の補強工法を合理的かつ効率的に選定できます。



※鋼矢板(鋼管)工法は落水できないため池等で有効な工法であるが、事例数が少ないことからフローには未記載としています。